

教育プログラム・コースの概要

大学名等	東京歯科大学大学院歯学研究科						
教育プログラム・コース名	顎顔面補綴専門医養成コース（正規課程）						
対象職種・分野	歯科医師・大学院歯学研究科博士課程大学院生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	口腔の専門家としての特性を生かしながら、がんによって失われた咀嚼機能、発音機能、嚥下機能、そして審美的な回復を図ることができる歯科医師としての人材である。がんの医療現場において、特に口腔がん・頭頸部がんの治療によって生じる形態・機能障害に対して歯科的技能を応用した高度な顎顔面補綴治療やエビテーゼ治療によって審美と機能の回復を図ることのできるスペシャリストを養成する。						
修了要件・履修方法	<p>専門医養成コースの履修要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修コース：東京歯科大学水道橋病院，市川総合病院医科および歯科口腔外科研修 ・口腔がん、がん口腔支持療法インテンシブコースの修了（12か月） ・国内留学：国立がん研究センター中央病院（6か月） ・ポートフォリオの提出：評価シート，担当症例報告，関連セミナーへの参加 ・原著論文1編 または 臨床研究論文3編 						
履修科目等	<p>大学院共通科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必修科目（主科目）：主科目（講義等），大学院共通講義Ⅰ（歯科専門分野），大学院セミナー ・選択科目：主科目以外の科目講義等，大学院セミナー <p>主科目，選択科目をあわせて必修科目30単位以上を履修し，独創的研究に基づく学位論文を提出し，最終試験に合格すること。</p>						
がんに関する専門資格との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔外科認定医・専門医（日本口腔外科学会） ・補綴認定医・専門医（日本歯科補綴学会） ・顎顔面補綴認定医（日本口腔顎顔面補綴学会） ・摂食機能療法専門医（日本老年歯科医学会） ・摂食嚥下リハビリテーション認定士（日本摂食嚥下リハビリテーション学会） 						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	わが国で人材不足が指摘されている顎顔面補綴分野の専門歯科医師を輩出するためのプログラムを作成した点が独創的である。具体的には、口腔がん患者の術後のQOLの向上のために必要な歯科補綴学，歯科インプラント学，顎顔面エビテーゼに関する教育プログラムを設置する。これらを勘案し，附属病院としてがん診療連携拠点病院を有する歯科大学ならではの環境で研修プログラムを展開し，さらに国内留学も含めがん治療に還元できる歯科医学の知識・技能・態度を涵養するための方略を作成した点が特色といえる。						
指導体制	東京歯科大学水道橋病院補綴科，口腔がんセンター，市川総合病院歯科・口腔外科における顎補綴治療，歯科インプラント治療の専門的研修を受けることが出来る。また，がん診療に関わる医師，歯科医師，その他多職種による横断的な指導体制が確立している。さらに国立がん研究センターでの研修協力体制も確立している。						
修了者の進路・キャリアパス	学位取得後は本学補綴科，歯科口腔外科に勤務し，がん患者の顎顔面補綴専門医としてさらに研鑽を積む。そしてこの分野を牽引する歯科医師として，将来は本学の教員，総合病院においてがん治療を含むチーム医療に貢献できる医療従事者として学際的活動が行える人材となることを期待する。						
受入開始時期	令和6年4月以降						
受入目標人数 <small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入目標人数設定の考え方・根拠	顎顔面補綴専門医（日本顎顔面補綴学会）は千葉県で2名しかおらず，この分野の専門医の育成は急務である。これまでの過去5年間で本学における顎顔面補綴分野に志願した大学院生が3名であり，本コースではさらなる人材増を図る必要があることから，目標受け入れ人数を1名/年，計5名に設定した。						
履修者数 <small>※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0						0